

主題：「神の宮である召会（神の永遠のエコノミーの目標）」  
の内在的な意義

メッセージ 15

神聖な啓示の高嶺にしたがって神の宮としての召会を建造するために、  
キリストの複製となる

聖書：ヨハネ 2:19-21. 12:24. ローマ 8:2, 29. 12:4-5

- I. 神聖な啓示の高嶺とは、神が人と成られたのは人が神格においてではなく命と性質において神となり、キリストの有機的なからだを生み出し建造して、神のエコノミーを完成するということです——ヨハネ 1:12-14. I ヨハネ 3:1-2. ローマ 8:3. 12:4-5 :
- A. 神のエコノミーとは彼の意図であり、ご自身を彼の神聖な三一の中で彼の選ばれ贖われた民の中に分与して、彼らの命また性質となり、彼らが彼であるのと同じになって、彼の団体の表現となることです——I テモテ 1:4. エペソ 1:3-23。
- B. 神は神のエコノミーを完成するために、ご自身のかたちにわたしたちを創造しました。それは、わたしたちが神格においてではなく、命と性質において神となるという意図をもってです——創 1:26. 啓 4:3. 21:10-11。
- C. 神はわたしたちを命と性質において神とするという目的で、わたしたちを贖いました。それは、彼がキリストのからだを持つことができ、それが神の拡大また表現としての新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至るためです——エペソ 1:7. 4:16. 啓 21:2。
- D. 神が人と成り、人を神としてはじめて、キリストのからだは生み出され、建造されることが出来ます。これは神がわたしたちに与えた神聖な啓示の高嶺です——ローマ 8:3. 1:3-4. 8:14, 16, 29. 12:4-5。
- II. 神の意図は彼の選ばれ、贖われ、再生された人々を、神の宮（キリストのからだ——三一の神の団体の表現として）のために、キリストの複製とすることであることを、聖書は啓示しています——ヨハネ 1:12-14. 12:24. ローマ 1:3-4. 8:3, 29. 12:4-5 :
- A. ローマ人への手紙における深い思想とは、神が人と成ったのは神の全体的な救いにおいて、罪人が贖われ、再生され、聖別され、更新され、造り変えられ、同形化され、栄光化されて、神の子たち（彼らは命と性質において神と同じです）となり、キリストのからだの肢体となるということです—— 8:3. 1:3-4. 3:24. 5:10. 8:14, 29-30. 12:4-5。
- B. 雅歌において、キリストの複製として、主を愛し追い求める者が、神の聖なる所、また団体のシュラムの女となることを見ます—— 6:4, 13。
- C. ヘブル人への手紙は、命の法則の機能を通して、わたしたちが神の長子としてのキリストの複製となり、神の多くの子たちの生ける構成である召会となることを啓示しています—— 1:6. 2:10-12。
- D. 啓示録で、イエスの生けるパーソンは神の表現また証しであり、召会はイエスの証し、キリストの団体の表現です。ですから、召会、すなわち拡大されたキリストは、

キリストにある神の証した表現の複製です—— 1:2, 5, 9, 12, 20。

**Ⅲ. ヨハネによる福音書によれば、キリストは複製を持っており、彼の複製において、彼は一粒の麦です—— 12:24 :**

- A. 一粒の麦として、主イエスは地に落ちて死にました。それは多くの麦粒を復活の中で、彼の複製として生み出すためです—— 24 節. エペソ 2:6。
- B. キリストの復活の中で、わたしたちは彼の複製です。彼の復活の中で、彼は神聖な命をわたしたちの中に分け与えて、わたしたち、多くの麦粒を、命と性質において彼であるのと同じにし、彼の複製としました——ヨハネ 12:24. I ペテロ 1:3。
- C. 最初の麦粒、すなわち最初の神・人は原型であり、多くの麦粒、すなわち多くの神・人は大量の複製です。これは神の複製です——創 1:26. ヨハネ 20:17. ローマ 8:29。
- D. キリストの複製は、キリストのからだ、すなわち、三一の神の団体の表現としての召会のためです——ヨハネ 2:19-22. 14:2. 12:1-11 :
  - 1. 主イエスは彼の復活の中で、神の宮をさらに大きな方法で再建し、それを団体のもの、すなわちキリストの奥義的なからだとしました—— 2:19-21。
  - 2. ヨハネ第 12 章 1 節から 11 節は、キリストの復活によって生み出された召会生活の縮図を描写しています。ここで、キリストのからだの真の表現を見ます。

**Ⅳ. 神が宮、すなわちキリストのからだとしての召会を生み出し建造するのは、ご自身を命の霊の法則としてわたしたちの中に分与し、わたしたちを神の長子の複製とすることによってです——ローマ 8:2, 29. ヘブル 8:10 :**

- A. 神の長子は原型、標準のモデルであり、神の多くの子たちの大量の複製のためです。彼らは彼の多くの兄弟たちであり、彼のからだを構成して、神の団体の表現となります——ローマ 1:4. 8:14, 29. 12:4-5。
- B. 神がわたしたちを神の長子の複製とするのは、生ける原型である彼をわたしたちの存在の中に造り込むことによってです。この内住する原型は、自動的にわたしたちの中で命の霊の法則として働いて、わたしたちを彼のかたちに同形化します——エペソ 3:16-17 前半. ローマ 8:2, 29。
- C. 命の法則の機能は、わたしたちを神格においてではなく命、性質、表現において神とし、わたしたちを神の長子のかたちに形成して、わたしたちが彼の団体の表現となるようにし、またわたしたちを、あらゆる種類の機能を持つキリストのからだの肢体に構成することです——ヘブル 8:10. ローマ 8:2, 29. 12:4-5. エペソ 4:11-12, 16。
- D. 命の霊の法則は機能して、わたしたちを神の長子であるキリストのかたちに同形化します。このようにして、わたしたちはキリストの複製となり、三一の神を団体的に表現します——ローマ 8:2, 29。
- E. 最終的に、命の霊の法則の機能を通して、わたしたちはみな神の円熟した子たちとなり、神は彼の団体の表現のために、キリストの複製を持ちます—— 12:4-5. 啓 21:7, 10-11。